

日本学術会議の法人化とは？

—学問の破壊は戦争につながる—

日時：5月17日（土）午後2時（1時45分開場）～5時

場所：明治大学駿河台校舎（JR 御茶ノ水駅から徒歩5分）

リバティタワー1155 教室 資料代：1,000 円（学生 500 円）

【報告】西川伸一さん（明治大学政治経済学部教授）

すり替えは許されない—「学問の自由」が押し流される岐路に立って

ことし3月に現在の日本学術会議法を廃止し、特殊法人としての「学術会議」を作るという法案が国会に提出された。時の政権による任命拒否を発端とするこの「問題」は、学術会議を骨抜きにする策動へとすり替えられ、ついにそれが法定される寸前。いまや「学問の自由」が押し流される岐路に立っている。

【報告】本田由紀さん（東京大学大学院教育学研究科教授）

日本学術会議法案の問題点

3月7日に閣議決定され国会に提出された日本学術会議法案は、法人化という根幹に加えて学術の独立性を脅かす多数の問題点を含んでいる。新旧の法案の比較によりその問題をあぶり出すとともに、先んじて法人化された国立大学の窮状とも合わせて、学術への国家権力の介入という危機的状況について論じる。

【コメンテーター】岩垂 弘さん（ジャーナリスト、元朝日新聞）

【司会】竹内栄美子さん（明治大学文学部教授）



主催 メディアネットちきゅう座

(代表 合澤清)

協賛 リベラル21

レイバーネットTV

アソシエーションだるま舎

問合せ先

chikyuzanet@shintoshin.nir.jp